

松戸市立総合医療センター後期臨床研修プログラム（整形外科）

1. 研修対象者

初期臨床研修終了者（卒後3年目以降）で整形外科専門医を目指すもの。

2. 研修期間

1年間。後述理由により当院での1年間の研修後は千葉大学整形外科医局に入局することを原則とするが、希望により他大学医局、他病院への移動の希望があれば適宜考慮する。

3. 研修カリキュラム

目的はすべての整形外科疾患の急性期および慢性期診療に対し適切に対処できる整形外科医を目指すこと、整形外科専門医の資格を得るのに豊富な症例を経験すること。

また、他職種との良好な関係を築きチーム医療を実践すること。

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前	新患外来見学 および診察	病棟業務 外来 手術	病棟業務 外来 手術	手術	手術
午後	外来患者検査 小児整形外来 リウマチ外来	脊椎外科外来 成人股関節外来	入院患者検査 小児整形外来(先天股脱など) リウマチ外来	手術	手術
その他		8:00～(午前)症例検討会 8:30～(総)回診(第1・3)	8:00～抄読会・学会予演		

4. 研修システムの特徴

- 1) 東葛地区の基幹病院、日本整形外科認定研修施設であり、整形外科領域全般にわたり、あらゆる分野の疾患を診察できる。
- 2) 整形外科病床60床、1日新患外来数20～30名、紹介率50%、年間全身手術件数は約800例である。
- 3) 専門分野は大きく脊椎脊髄外科領域と関節外科領域に分かれており、高度かつ専門医療に携わっている。手術件数は脊椎手術：112件、関節手術：399件（平成29年度）で、内科的合併症を有する症例も少なくない。千葉県下では両者ともトップレベルである。また、小児整形外科疾患も多く扱っている。
- 4) 救急は1～3次までの疾患を受け入れており多数の救急診療、急性期診療を体験できる。
手術は難易度、習熟度により考慮されるが、原則として指導医のもとに外傷を中心に後期研修医は術者としての技量を身につけることができる。
- 5) 単純X線、MRI、CT、RIの読影のみでなく、脊髄造影、神経根造影、椎間板造影、関節造影など整形外科全般にわたる検査の手技を修得できる。
- 6) 学会発表を積極的に行う。
- 7) 千葉大学整形外科および東葛地区近隣の病院と積極的な連携をとっており、研修会、

症例検討会に参加し情報交換に努めている。

5. 指導スタッフの概要

整形外科専門医 9 名

専門の内訳：脊椎脊髄外科 2 名（うち脊椎脊髄外科指導医 2 名）、小児整形外科 1 名、
リウマチ関節外科 4 名、成人股関節外科 3 名

6. 研修終了後の進路

整形外科診療の特徴として同一疾患、同一外傷においても年齢、社会的背景により治療法が異なり、また外科医、病院により手術適応や治療法もさまざまである。したがって研修期間中（特に整形外科専門医を習得するまでの 6 年間）には多施設で研修を行い、幅広い知識を身につけることが必須である。したがって当院での研修は原則として整形外科領域疾患に対して基礎的対応を身につける 1 年とし、その後は千葉大整形外科に入局し、効率よく関連病院をまわり大勢の整形外科医と接し、臨床研究または基礎研究を行うことを勧めている。